

# おじいさんの気持ち（道徳）

対象：小学校高学年～中学生以上

## 1 主題名 「高齢者と共に生きる」

### 内容項目 B【親切，感謝】

思いやりの心をもって人と接するとともに，家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分があることに感謝し，進んでそれに応え，人間愛の精神を深めること。

### 関連項目 C【郷土を愛する態度】

郷土の伝統と文化を大切にし，社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め，地域社会の一員として自覚をもって郷土を愛し，進んで郷土の発展に努めること。

## 2 資料名 「おじいさんの気持ち」（出典：第 35 回全国中学生人権作文コンテスト）

## 3 主眼 おじいさんのおばあさんに対する深い愛情に気づいた「ぼく」の気持ちを考えることを通して，認知症の方やその家族の方に対して自分にできることを見つけようとする意欲を持つことができる。

## 4 本時の位置

○前時：認知症の方と介護しているご家族とのよりよい関係づくりをしているNPO法人の理事長さんのお話を聞き，自分の見方や考え方について振り返った。

○次時：認知症の方やその家族の方を支えるために自分にできそうなことを考える。

## 5 人権教育の視点

○ 認知症の方やその家族の方に対して自分にできることを見つけようとする意欲を持つ。（価値・態度）

## 6 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	指導・助言・評価	時間	備考
導入	1 前時の授業を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の方やその家族の方を支えている理事長さんから話を聞いた</li> <li>認知症の方やその家族の方を支えるために，ぼくたちにできることはどんなことだろう。</li> </ul>	○「自分たちにできることはどんなことだろう」という気持ちを確認して，学習に入る。	5	
展開	2 資料の前半（2段目 27行目まで）を読み，おじいさんの気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公のお母さんはお年寄り夫婦の後見人をしている。</li> <li>認知症のおばあさんがトマトやナスを引き抜いてしまった。</li> </ul>	○資料前半の内容を簡単に確認する。	8	人権作文学習カード
		<p>おじいさんはどんな気持ちで「ええんや，わしがしたんや」と言ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症のことでおばあさんを責めたくない。</li> <li>トマトやナスも大切だが，おばあさんはもっと大切な存在。</li> <li>おばあさんから目を離れた自分に責任がある。</li> </ul>	○どのような考えも認めていく中で，おじいさんのおばあさんに対する深い愛情に気づかせる。		
	3 おじいさんの言葉を聞いたとき	<p>おじいさんに「ええんや」と言われ，だまって家に帰ったときのぼくはどんなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おじいさんはきっと（切なさや愛</li> </ul>	○叙述には書いてない		

	のぼくの気持ちを考える。	しさが入り混じった)複雑な気持ちだろう。 ・おじいさんの気持ち(深い愛情)を考えると何も言えない。	ぼくの気持ちを考える。「自分だったら」どんなことを思うのかを考えるよう促す	7	
	4 資料後半を読み, ぼくの気持ちを考える。	「ぼく」はどんな気持ちで「また遊びに来るわ」と言ったのだろう。 <b>【支えたい】</b> ・おじいさんとおばあさんを支えていきたい。 ・自分にできることは遊びに来ることぐらい。それを続けていこう。 <b>【おじいさんの気持ち】</b> ・おじいさんのおばあさんに対する気持ちを考えて行動したい。 <b>【その他】</b> ・自分にできることは何だろう。よく考えてみよう。 ・認知症に対してもっと理解しよう ・後見人である母の仕事を手伝っていこう。	○個人→グループ→全体の流れで意見交換を行う。 ○グループの話合いでは付箋や画用紙を利用して, 似た考えをまとめていく方法も考えられる。 ○全体で考えを共有する場面では, 教師の問い返しや補助発問で「ぼく」の前向きな気持ちに目を向けていく。 補助発問例)「ぼく」が支えようという気持ちを強くしたのは, なぜだろう。	20	
まとめ	5 認知症の方やその家族を地域で支えていくために大切なことを考えてまとめる。	・認知症の方の家族には, 認知症であることを受け入れる難しさがあるだろう。そんな気持ちも考えなくてはならない。 ・自分にできることは限られているが, 家族の方の気持ちを考えながら, できることを精一杯にしていきたい。 ・自分にできそうなことを具体的に考えてみたい。	認知症の方やその家族の方に対して自分にできることを見つけようとする意欲を持てたか。  ○自分とのかかわりで考えている生徒の感想を共有し, 次時の学習につなげる。	10	

**【資料】人権教育リーフレット「いま ここから 自分から5」(長野県教育委員会発行)**

本授業は上記リーフレットに紹介されている人権作文「おじいさんの気持ち」を活用することを構想した道徳の授業です。リーフレットでは“学びのサイクル”(①実体験 ②対話 ③ふり返り ④関係づけ ⑤活用)で学習を進めることを例示しています。その学習過程の④関係づけの段階でこの道徳の授業を行い、「(本時まで)に学習してきたことと日常の中での様々な出来事とを関係づけて考え, 自分ができることを見つける」意欲づけをします。リーフレットと共にこの指導案をご活用ください。

